

The Correspondence of Noboribetsu City Nature Center

登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉦山
ニュースレター

鉦山 録



ひなごもり
Illustrated by Hiyama T.

Contents

Vol. 13
June 2005

特集	
ふおれすと鉦山は新しい形へ。.....	2
オープンから 37 ヶ月の活動報告.....	4
進化するコラボレーション.....	5
リトル・ヴォイス ~リレーエッセイ~	7
お知らせ.....	8

ふおれすと鉱山は 新しい形へ。



運営から4年が経ったふおれすと鉱山。
模索し始めた次の一步は、次の10年
を見越した運営形態だ。

コント55号のネタづくりのように。

ふおれすと鉱山という仕事を丸三年やった今、なぜか

「『コント55号』はねえ、一度披露したネタは二度とやらなかったらしいよ」

という、ウチのお袋の、何気ない一言を思い出す。

何をいきなり、という感じである。

ぼくはドリフ世代なので、コント55号なんてちゃんと見たことがないし、そんなセリフをいつ、どんなタイミングで、なぜお袋に言われたのかなんて全然覚えていない。でも、なぜか、今のぼくを鼓舞してくれる言葉だ。さすがだぜ、欽ちゃん。

ぼくらは、鉱山町にある様々な自然を使って、その人・その団体のねらいにあわせた自然体験プログラムを作るのが仕事だ。しかし、膨大な量を締め切りに追われながら作るのも、どうしてもかつてやったプログラム・わりとウケが良かったプログラムを使い回してしまうことがある。それを実際現場でやると、なるほど、確かに経験しているだけに、余裕を持って取り組むことができる。より洗練されていく部分もある。でも一方、やはりどうしても、どこかでマンネリを感じてしまうのだ。

そんなマンネリって良くないねえ、なんてスタッフ同士で話しているときに、突如思い出したのが先述のセリフである。

今まで作り上げたものを眺めて満足してはいけな。それを踏み台にして、さらに良いものを作ろうという「攻め」の姿勢を持ち続ける。内に、ではなく外へ。

そんな「永遠の未完成」というコンセプトを、ぼくは最近、なぜかコント55号に置き換えて納得している。

ということで、ふおれすと鉱山という施設も、今までの成果に頼らず、もう一度作り直すぐらいの気持ちで4年目を迎えたつもりだ。新しいスタッフ・新しい考え方・新しい仕組みといったものを、3年間というプロセスに混ぜ込んで、より有益な化学反応を起こしていきたいと考えている。

1. 新しい「ふおれすと鉱山」をつくるための目標

本当の意味で市民が利用・参加・参画しやすい「ふおれすと鉱山」という場・環境・施設・しくみづくりを目指すための準備をします。

考え方

施設や事業の運営については、市の主導による協働から、市民の主導型の協働へとスムーズに変換できるように働きかける。

自分だけの学びではなく、学びや気づきをより多くの人に広げ、分かち合うしくみづくりと、それを支えるための丁寧な施設作りを目指す。

調査やプログラムづくりに、より多くの利用者・市民に関わってもらい、共有できるようにする。また、そのデータが有機的にプログラムに活かせるような整理をする。

常に最新の調査結果に基づき、鉱山町のその日その時にしか体験できないリアルかつオリジナリティあふれるプログラム・展示の開発に努める。

自分だけの学びではなく、学びや気づきをより多くの人に広げ、分かち合うしくみづくりと、それを支えるための丁寧な施設作りを目指す。

コンセプト

「永遠の未完成」
「協働（コラボレーション）」

「非定型
（インフォーマル）な教育」

「オーダーメイドプログラム」
「持続可能な利用と管理」

「オーダーメイドプログラム」

「持続可能な利用と管理」

2. 目標を達成するためにやること。

①もう一度、運営計画を考えます。

最初の運営計画が作成されたのが、平成13年の11月です。それをもとに3年間やってきました。そこから得られた成果や浮かび上がった課題、さらに今のふおれすと鉱山を取り巻く環境を整理しながら、これから先ふおれすと鉱山をさらなる高みへと導くことができるような運営計画を作成したいと考えています。

そのためには、多くの利用者・支援者・専門家が主体的に参加できるワークショップを開催し、さらに一歩進んだ協働を促していくことが重要です。効率的・効果的に話し合いや作業を進めることができるよう、調整していきたいと思っています。そして、その成果をより多くの市民へ発信するために、秋頃にシンポジウムを開催する予定です。

②新規事業を進めます。

利用者や支援者のみなさんのアイデアはもちろん必要ですが、情報もそれらと同じぐらい必要です。そこで、今までやってきた事業を少しシェイプアップするとともに、新しい事業をスタートさせました。「森のようちえん」、「コーザンながぐつレンジャー」、「木育プロジェクトへの参加」など、今まであまり広がっていなかった分野に焦点を向け、果たしてどのぐらいマーケット開拓できるのか、というデータを収集したり、これらをきっかけとして新たなネットワークを構築していきたい、と考えています。

③モモンガくらのNPO法人化を支援します。

この3年間で、著しく成長を遂げたモモンガくらぶ。より社会性を高めるためにNPO法人格取得に向け、本格的に動き出しました。これを機に、より多くの方がふおれすと鉱山という「仕組み」により主体的に参画することができるよう、情報の提供やアドバイスを行っていききたいと考えています。

新しい仕組みを目指して  to the next decade

オープンから37ヶ月の活動報告

●ふおれすと鉱山の主催事業

指導者養成講座①鉱山町で役立つ救急テクニック 4/30~5/1

もし何かが起こったら…ただでさえ混乱しているのに適切な対処方法さえも知らない…、そんなとき何をやったらいいのかということ想定しながら一連の救急テクニックを学びました。また、実際現場に出てみて、日常に潜む危険について考えました。

GWスペシャルウィーク 5/3~5

今年で3年目を迎えるスペシャルウィーク。自然散策やクラフト教室、川遊びやクライミングウォール選手権といった様々な自然体験活動に子どもから大人まで多くの方々に楽しんでいただけました。

フラワーソン2005 5/22

例年より雪解けが遅く早春の花々が咲き乱れるなか、鉱山町の植物の開花調査を行いました。残雪の白と春のはかない色彩をめぐる楽しい時間となりました。今後も、鉱山町周辺の開花状況などを調べる機会を「花の情報特派員」となった今回の参加者の方々とも、もっていきたいです。

エゾハルウィーク 6/7~12

エゾハルゼミの羽化の瞬間を見る。そのために、1時間くらいかけて羽化をしている間のエゾハルゼミの動きをそっと見守る。小さい抜け殻に比べて大きな体。生き物って不思議だなあ〜、とみながら驚きと感動の時間を楽しみました。

指導者養成講座②川・沢あそびの安全講習 6/11~12

川や沢で遊べるのは楽しいこと。ただ、安心して遊ぶためには、何をしたら危ないか、ということを知らずにやるのは怖い。そこで、水の流れのメカニズムや水遊びをするときに必要なことを頭や体を使って実際に体験しました。また、指導者として、安全に人をつれていくためには、ということも考えていきました。



●モモンガくらの主催事業

第2期KoNG養成講座 5/16~17

昨年からはじめたコーザンネイチャーガイド (KoNG) 養成講座の2期目がスタートしました。一回目は、鉱山町の歴史・自然ということをテーマに実施。今後1年間を通じて、ガイドになるべくみんなで楽しく学んでいきたいと思います！

ワンデイハイク 5/24

晴天に恵まれるも、残雪もあり目的地を急きょ変更。だけど、自然キーワードビンゴをやったり、早春の花を楽しんだり、野鳥のさえずりを聞きながらスローな1日を楽しみました。また、お楽しみ企画として用意された茶屋「ふきのとう」で旬の山菜も堪能しました。

来馬岳登山 5/29

スミレが咲き誇る道を歩き、中腹からは残雪が残る登山を楽しみました。遠景には室蘭岳などを望み、景色のいい頂上手前で昼食をとりました。春の雪遊びなども楽しみました。



ほんねのスタッフ ⑨コーザンライフを楽しもう

働く日数が増えたので、多くの人との出会いも増え、声をかけられることが多くなったので4年目にして少しだけスタッフらしさを感じてもらえるようになったのかなと勝手に思ったりしていますが…

もともと室内向きの私は、ほんの近くに笹の葉を取りに行くだけなのにカッパを着て長靴をはき、首にタオルを巻いて、完全装備姿。「どこまで山の中に行くの？」と半袖姿でサンダルばきの軽装でいる他のスタッフに声をかけられながらも意気込んで出かけ、風でゆれる木の音に驚いて帰ってきては「あれ、もう帰ってきたの？」と、少し冷たい視線を感じ、まだまだだなあと思いながら日々過ごしています。

でもこの頃では、鳥に詳しいスタッフに連れられてオオルリと出会えた感動から鳥に興味が出て、毎日通ってきてくれているKさんと一緒に何か飛んでいるのを見つけては双眼鏡を持って走って歩いているひとときは私の大切な時間になっています。(S)



だって怖いじゃないですか。

こうざんちょう
もり

進化するコラボレーション その①

森のようちえん

みんなでいっしょに、
つくりたい。



6月から始まった、ふおれすと鉱山初の幼児向けの自然体験活動「こうざんちょう・森のようちえん」。第1回目は「はっばようちえん」と題したプログラムを実施し、20人の子どもたちが親と一緒に柴刈りをしたり、ヨモギを集めたりと森の中で思いっきり遊び、森の恵みをいただきました。

今までふおれすと鉱山では小中学生や大人を相手にしたプログラムは多く実施してきていますが、幼児を相手にプログラムを行うのは初めて。わからないことがたくさんありました。そんなときに力になったのが幼児の活動に経験のあるボランティアの方です。また、経験がなくても一緒に子どものことや活動のことを考えてくれて活動を盛り上げてくれるボランティアの方々なのです。

5月の森のようちえんでも数名のボランティアの方々に関わっていただいたおかげで、とても良質なプログラムを展開できました。

いろいろな人が関わりながら、そのスタイルを作り上げていくのがふおれすと鉱山流！

是非、皆さんも一緒に“森のようちえん”を盛り上げてみませんか？
経験者も初めての方も大歓迎ですよ！

西埜

ながぐつレンジャー

コーザンの森を調べる・守る・管理する！

「鉱山の自然の中で働いてみたい！！」

そんな「思い」と「やる気」があれば、登別市内の小中学生なら、誰でも参加OK！

君の「やる気」を「ふおれすと流」に形にした新企画！「コーザン・ながぐつレンジャー」が、いよいよ6月から、毎月1回のペースで始まりました。この「コーザン・ながぐつレンジャー」とは、鉱山の自然の中を「ながぐつ」をはいてかけ回り、汗まみれになりながらも活躍する小学生チームのメンバーのこと。

主な活動内容は、「ふおれすと鉱山」のスタッフと一緒に、さまざまな仕事（調査活動や野外作業）に挑戦します。6月の活動では、巣箱の調査と笹刈りを体験しました。

参加方法は、まず「コーザン・ながぐつレンジャー」の会員登録をして頂きます。その後、会員の皆さんには、毎月の活動内容のご案内を致しますので、ご都合に合わせてご参加下さい。毎回20名を定員として先着順に受付をします。

なお「コーザン・ながぐつ・レンジャー」についての詳細につきましては、電話にてお気軽にお問い合わせ下さい。（担当 菊池）



コウに感動!

①セミの羽化に感動



今年は大雪のため、4月末まで「ふおれすと鉱山」周辺には残雪がありました。5月にも2回の降雪があり寒い日が多かった鉱山町でしたが、6月に入りようやく暖かい日が続くようになりました。そして、土の中にいた昆虫たちも、この瞬間を待ちわびていたかのように、本格的に活動を始めました。

今、「ふおれすと鉱山」周辺で見ごろなのが「エゾハルゼミの羽化」です。羽化は、夜中に行われることが多いのですが、セミのなかには夕方頃から羽化を始めるものもいます。そしてラッキーな時は、その光景を目の当たりにすることもできます。左の写真は、まさにその瞬間!

しかし、抜け殻から上手く出られずに途中で死んでしまったり、羽化の最中に他の動物に食べられてしまう場面にも遭遇し、改めて自然界の厳しさを痛感しました。

無事に羽化を終え、約1週間から2週間といわれる短い命。その限られた命を必死に輝こうとする鳴き声を聞かたびに、胸が熱くなります。(菊池)

響け愛の歌

えんどうめぐみの森のひみつシリーズ ⑬

5月のある日、窓の外から「ヒョー、ヒョー、ヒョー」と高らかに響く声が聞こえました。おっ!今年も来たんだね!と、双眼鏡片手に外へ目散。周りを見回すと…なんと、ヤマゲラくんが、緊急連絡塔(高さ8mくらい)のスピーカーの上にとまっている(正確には、乗っかっている)ではないですか!そして、「タカタカタター♪」とドラミングを始めました。ドラミングとは、キツツキの仲間がオスとメスのコミュニケーションやなわばり宣言のために樹をくちばしてたたくことをいいます(1秒間に20回程度たたくそうです。頭の骨は厚くできていて、発達した筋肉で頭が保護され、たたいた反動は、くちばし、頭、首と伝わって体に抜けていきます)。たたく相手が木ではないため、このドラミングは、明らかに'愛のうた'!スピーカーはプラスチック製で中が空洞なため、たしかに音は鉱山町に響き渡っています!どうやら、キツツキの仲間は、時には電柱の部品をたたいたりして'愛のうた'を奏でるようです。さらに、よぉ〜くみると、頭に赤い色がない!?そうです、メスでした。ヤマゲラたちは、メスもオスも愛のうたを奏でるのです。

足場の悪い(?)スピーカーの上で、つるつる滑りながら、ドラミングをしているヤマゲラちゃん。知っていたのか、はたまた、ドラミングしたら「とても響くわ〜♪ラッキー♪」と思ったかは、計り知れず…。そのお姿に、なんだか人生を学んだような気がしました(?)。



リレーエッセイ Roots and Shoots リトル・ヴォイス

さらなる進化

松原 條一
モモンガくらぶ会長

登別市の各種団体の集まりである「市民懇話会」の有志が「ふおれすと鉱山」活動支援組織を立ち上げるようになったのはほぼ3年前になります。今の「モモンガくらぶ」はとても多くの皆さんに支えられ、会員数も発足当初の倍の80名を超えています。すごいことだと思います。最初の頃はまさに暗中模索で、どちらが支援団体かわからない有様でした。ねおすの宮本さんやふおれすと鉱山のスタッフの皆さんに協力いただきながら、少しずつ様々なことを覚えて来ました。やっと活動支援ボランティア組織として機能したのは、2年目も半ばだと思います。だんだんと力がついて「モモンガくらぶ」独自の事業展開もスムーズになり、たくさんの皆様に応援いただけるようになりました。そうした中で欲が出てきて、もっとたくさんの皆様に喜んでいただきたいものと、専門的知識を身につけるために、ガイド養成を手がける事になりました。昨年は12名の方がコーザンネイチャーガイド（通称KoNG）の認定を受けました。未熟なところも多くありますが、しかし確実に進歩をしています。今年度も第2期KoNG養成講座を開設中ですが、皆さんとても一生懸命に知識、技術の習得にむけ、頑張っています。ありがたいことだと思っています。今は超ローカルなネイチャーガイドですが、将来北海道はおろか日本全国にその名をとどろかせてほしいなあと夢を見ている。

モモンガくらぶは活動支援や独自プログラムをこなしていくうちに、だいぶ知名度も上がり、信用もついてきたと確信しています。組織も大きくなり、責任の大きさも実感してまいりました。今後利用者の方々の多様なニーズに responding していくためにもプログラムの質を高め、種類を増やしていかなければならないと思います。

そのために考えられる方法はいろいろあると思いますが、今年度の総会でモモンガくらぶは特定非営利活動法人になることを承認していただき、NPO法人の取得を選択することにしました。NPO設立総会は定款をはじめとする6つの議案については満場一致で賛同を得られ、申請の運びとなりました。今年の10月には「特定非営利活動法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ」が誕生します。正念場はこれからだと思っています。

「自然活動を通じて人と人、人と自然のふれあいを促進し、子どもから大人まですべての人が、豊かな自然を五感で感じ、遊びの中で感動し、自然の大切さを学び、自然の価値と自然を大切にすることを育むことを通じ、豊かな人間性を創造し、自然と共生できる暮らしとまちづくりに寄与することを目的とする。」と定款第1条にうたっております。すべての活動結果はここに帰属します。組織として成り立っていくために、スタッフの確保、ネットワークの構築、一人一人の知識集積、技術の習得を実行していかなければならないと思います。「自然との関わり方」について今まで以上に責任ある活動が必要になってきます。ボランティア組織という位置づけは変えずに、会員の皆様には自分のできることを、できる時間で活動していただこうと思います。

ふおれすと鉱山との連携は更に緊密にし、ねおすなどとの専門組織、専門家との連携を再構築することで、モモンガくらぶはますます発展し、強いては利用者のニーズに responding することになると思います。やらなければならないことは山ほどありますが、まずは自分たちで出来ることから手をつけ、欲張りすぎず等身大の活動を心がけていくつもりです。

2005年6月2日
モモンガくらぶ会長 松原條一

EVENT INFORMATION

ふおれすと鉱山の事業

イベントチェック

6/26 (日)	草木染め (モモンガくらぶ主催)
7/9 (土) ~10 (日)	'05夏! わんぱく自然体験活動 鉱山の鉱石と歴史&川遊び (モモンガくらぶ主催)
8/2 (火) ~4日 (木)	ジュニアチャレンジキャンプ
8/12 (金) ~14日 (日)	夏休みスペシャルウィーク

BRAND NEW EVENT 01

もりのようちえん シリーズ

6/25 (土) 26 (日)
7/23 (土) 24 (日)
8/13 (土) 14 (日)
(担当: 西埜)

BRAND NEW EVENT 02

ながぐつレンジャー シリーズ

6/25 (土)、7/23 (土)
8/13 (土)
(担当: 菊池)

NEW EVENT!

木の遊園地がやってくる!!

北海道がすすめる「わくわく! 木育(もくいく)ランド」が、10月にふおれすと鉱山で行なわれることになりました!
木の砂場や木のすべり台など木でできたおもちゃたちが大集合!
詳細はニュースレターやホームページでお知らせします。
お楽しみに!! (担当: 遠藤)

運営スタッフも大募集!!

イベントのお問い合わせ・お申込みは
「ふおれすと鉱山」
TEL.0143-85-2569
FAX.0143-81-5808
まで、お気軽にどうぞ。

ボランティア募集のお知らせ

毎月1回実施する「こうざんちよう・森のようちえん」や「みんなで作る森の遊び場」「もんきーパーク」の活動をお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。
この2つの事業は、つい最近始まったばかり、生まれたての活動です。ボランティアの方々と一緒に考え、一緒に作り上げていきたいとも考えています! ご興味・ご関心のある方はぜひお問い合わせください。

○どんな人を募集しているの?

- ・年齢・経験は問いません
- ・子どもが好き、自然が好きな方歓迎
- ・各人でふおれすと鉱山まで来ることの可能な方。(公共交通機関はありません)

お問い合わせ、お待ちしております。
(担当: 西埜)

HOT NEWS

ホームページを全面リニューアルしました!

ボランティア情報や鉱山町の自然情報、実施してきた事業の活動報告などを随時アップしていく予定です。是非、見てみてください!!

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館・9:00~17:30 入館料・無料

休館日・毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります)

・工作室・図書室はご自由に使用いただけます。そのほかに双眼鏡、マウンテンバイク、調理台などをご利用いただけます。

EDITOR'S LOUNGE

毎年、自分は夏に何をしているのだろう。と、ふと思う時期がある。この仕事をしていると夏は忙しく、遊ぶ暇はない。だから、かつての「夏休み」の記憶のフラッシュバックの中に立ち返ることがあるのだろう。別に夏が忙しいのがイヤなワケではないのだけれど、在りし日々を思い出すようになった今日この頃なのだ。

おくづけ

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.13
発行: 2005年6月
発行所: 〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3
電話番号: 0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808
E-Mail: kouzan@pluto.plala.or.jp
URL: <http://www.noboribetsu.ed.jp/~ncenter/>